

R6年度 事業名	地域子育て活動費補助金
R5年度 事業名	地域子育て活動費補助金

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	0	終了年度	2024
	目的	母親クラブをはじめとした、市内の地域で子育て支援活動を行う団体を支援し、児童が心身ともに健やかに育つよう、地域の児童福祉の向上を図る。					
	概要	児童が心身ともに健やかに育つように、会員同士が親睦を深めたり地域の児童福祉の向上を目的とした地域団体の事業に対し、補助金を交付して支援する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	母親クラブをはじめとした、市内の地域で子育て支援活動を行う団体が実施する地域の児童福祉の向上を目的とした事業に対して、補助金を交付する。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	補助団体数		団体	目標値	13	13	16	16	16
				実績値	9	10	13		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	各団体の延べ実施事業数		数	目標値	26	26	30	30	30
				実績値	22	18	23		
	計算 根拠			達成率	84.6	69.2	76.7		
				実数値					
				ランク	B	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	年度途中にインフルエンザの流行もあり、当初予定より事業を縮小せざるを得なかった団体が複数あったり、母親クラブの活動を中止、停止する団体も出てきていたため。								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	540	900	850	800	800		事業タイプ	単独事業
	決算額	192	417	482	435			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	601			800
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	800

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
有効性	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	母親クラブをはじめとした、市内の地域で子育て支援活動を行う団体を支援し、児童が心身ともに健やかに育つよう、地域の児童福祉の向上を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度に補助した母親クラブ数は13団体、延べ実施事業数は目標30回に対して23回だった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R5年度は、新型コロナウイルスの影響も少なくなり補助団体数・実施事業数ともに増加することができたが、年度途中でインフルエンザの流行もあり、当初予定より事業が縮小せざるを得なかった団体が複数あったり、母親クラブの活動を中止、停止する団体も出てきている。今後、補助団体の意見を聞きながら、活用いただけるよう検討していく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	R7年度からは、地域こどもの生活支援強化事業として、母親クラブ等の地域でこどもを見守る団体が、地域にある様々な場所を活用し、食事や体験活動等を提供する活動への補助に変更する。 活動を通して、支援が必要なこどもを早期に見出し、行政等の適切な支援機関につなげる仕組みをつくる。
	R7方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	出会い交流サポート事業
R5年度 事業名	出会い交流サポート事業

総合戦略 体系	311	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出会い交流等のサポート
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	2005	終了年度	9999
目的	結婚を希望する者が交流できる機会や場を提供することで婚活を応援し、未婚率の低減を図る。					
概要	令和2年度より、県、県内市町で運営するふくい結婚応援協議会に加入 令和4年度より「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成を導入し、婚活支援を推進する。 婦人福祉協議会に委託し、結婚相談業務を実施している。 平成24年度から、提案型市民民主役事業で未婚の男女が交流できるイベントの開催を市内の団体に委託していた。平成27年度から令和3年度まで若者たちに新たな出会いとなる場とモノづくりを通して結婚を望む人との支援を実施した。					
法令等根拠		実施形態	内容	ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム登録者負担金助成、婦人福祉協議会への業務委託		
現在	民間等委託(全部)					

D

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
イベント等の開催回数 ※～2021年度		回	目標値	3				
			実績値	3				
登録料助成について情報発信回数 ※2022年度～		回	目標値		3	3	3	3
			実績値		3	3	3	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
イベント等の延べ参加者数 ※～2021年度		人	目標値	60	－	－	－	
			実績値	48				
計算 根拠			達成率	80				
			実数値					
ふくい結婚応援協議会登録者数 ※2022年度～		人	目標値		70	40	40	40
			実績値		26	35	15	
計算 根拠	登録料を市が助成した件数		達成率		37.1	87.5	37.5	
			実数値					
			ランク	B	C	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	R5.8月からR6.1月まで、県が女性会員拡大キャンペーンとして女性の登録料を助成し、その期間中は市が登録料の助成を行わなかったため。							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	200	830	680	530	560		事業タイプ	単独事業
	決算額	100	830	436	505	435		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	202	出会い交流サポート事業費	630	560
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	560

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	婚活を始める人のきっかけづくりの支援として、「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成を実施。婦人福祉協議会に委託し、結婚を希望する人に対して、結婚相談員が結婚に関する情報提供、相談、紹介業務等を行う。R6年度より、結婚生活や子育てに対して、夢がもてるよう機運の醸成を図るトークショーを実施した。またマッチングシステムの出張登録会を市内で実施するほか、婦人福祉協議会とコンシェルジュとの意見交換を行った。	
来年度へ向けて	R5年度実績 ふくい婚活サポートセンターマッチングシステムの登録料助成について、広報誌やホームページに掲載し情報発信した。また、女性登録者の割合が少ないことから、女性登録者の増加につなげるため、県が女性会員拡大キャンペーンとして、R5年8月からR6年1月までの期間で実施した、女性の登録料の半額助成について、市でも積極的に周知を図った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R5年度は、ふくい婚活サポートセンターマッチングシステムの登録料助成について推進したが、女性登録者の割合が少ないため、県ではR6年度は、女性限定で新規登録者の登録料をR6年6月からR7年3月までの期間限定で無料とする事業を行っている。市では引き続き、婦人福祉協議会と連携して情報発信を図るなど、積極的に推進していく。(広報誌、ホームページ、公式ラインも活用)	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 引き続き、婦人福祉協議会に委託し、結婚を希望する人に対して結婚相談員が結婚に関する情報提供や相談、紹介業務等行う。また、ふくい結婚応援協議会が主催する「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」との連携を図っていく(紹介、情報など)。今年度、マッチングシステムについて、登録しやすいよう市内で出張登録会を実施したところ、予定した3枠すべての登録があったため、R7年度も引き続き実施する予定。また、今年度、婦人福祉協議会とコンシェルジュとの意見交換を行い、課題や改善点について共有した。R7年度も引き続き意見交換会を開催する予定。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	ひとり親家庭等児童生徒激励事業
R5年度事業名	母子家庭等児童生徒激励事業

総合戦略体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
--------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN計画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の子どもが小・中学校に入学および中学校を卒業するときに、祝い品を贈呈する。					
	概要	ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学、中学校卒業児童に祝い品を贈呈する。					
	法令等根拠		実施形態	内容	ひとり親家庭の子どもの小、中学校入学、中学校卒業児童に祝い品（商品券）を贈呈する。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	お祝いする回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	祝品の贈呈率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算根拠	贈呈者数/贈呈該当者数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	147/147	145/145	139/139	145/145	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,540	1,330	1,260	1,120	1,330		事業タイ	単独事業
	決算額	1,330	1,029	1,015	973	1,015		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	203	ひとり親家庭等児童生徒激励費	1,190	1,120
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,120

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学、中学校卒業児童に、祝い品(7,000円の商品券)を贈呈する。 祝い品を受取り損なう人がないよう、早めに通知・督促を送る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度 祝い品は該当者139名に対し、商品券7,000円を贈呈した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	「ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学および中学卒業を祝い会」を開催し、入学・卒業する児童7人の参加があった。R6年度も開催予定。 学校行事などで、参加する児童数が少ないため、参加者数を増やす工夫が必要。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	祝い会の開催については、母子寡婦福祉連合会と連携してより多くの児童に参加してもらえるよう働きかける。 祝い品は、受取り損なう人がいないように、早めに通知・督促を送る。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	福祉手当支給事業
R5年度 事業名	福祉手当支給事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	0	終了年度	9999
目的	経済的に困っているひとり親家庭等の保護者に手当を支給することにより、経済的自立と生活意欲の向上を図る。					
概要	ひとり親家庭等で生活の状態が困窮していると認められる世帯に対し、その世帯で児童(18歳到達年度末)を養育する人に手当を支給する。(所得制限有り)(児童一人につき月額5,000円、世帯の限度額は、月額20,000円)					
法令等 根拠	鯖江市福祉手当支給条例		実施 形態	内容	ひとり親家庭等で生活が困窮していると認められる世帯に対し、手当を支給する。	
現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	制度の周知活動		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支給率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	支給決定数/支給要件適合者申請数×100		達成率	100	100	100	100	
				実数値	16/16	18/18	14/14	8/8	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,000	900	800	700	700		事業タイプ	単独事業
	決算額	765	655	525	410	280		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	302	福祉手当費	600	700
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	700

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	ひとり親家庭等で生活の状態が困難していると認められる世帯に対し、その世帯で児童(18歳到達年度末)を養育する人に手当てを支給する。(所得制限有り)(児童一人につき月額5,000円、世帯の限度額は、月額20,000円)対象となりうる方に広報できるよう、児童扶養手当の現況届受付の際などに併せてお知らせする。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 令和5年度において、福祉手当支給事業周知活動は3回実施した。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 市のホームページや広報紙で、福祉手当支給事業についてPRをした。近年の物価高騰の影響により、今後増加が見込まれるため、本手当を必要としている人に伝わりやすい紙面づくりを心掛ける。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 対象となりうる方に広報できるよう、児童扶養手当の現況届受付の際などに併せてお知らせできるようにする。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	鯖江市母子寡婦福祉連合会運営補助事業
R5年度 事業名	鯖江市母子寡婦福祉連合会運営補助事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN 計画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	鯖江市母子寡婦福祉連合会の活動を支援し、会員である母子家庭の自立向上を図る。					
	概要	鯖江市母子寡婦福祉連合会の運営費および事業費の一部を補助する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江市母子寡婦福祉連合会の活動の運営費に補助を行う。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	研修会開催数		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4	5	
	計算 根拠	研修会開催数/目標値	達成率	100	100	100	125		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	730	657	600	550	500		事業タイプ	単独事業
	決算額	730	657	600	550	500		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	601	母子福祉団体等補助金	545	500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	500

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市母子寡婦福祉連合会の運営費の一部を補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度の研修会開催数は、目標4回に対して4回実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度も感染症対策を講じながら、総会やひとり親家庭ふれあいのつどいなどを実施した。その他の会員活動も同様に事業継続した。運営費・事業費の補助額については、繰越金が発生していることから減額を行っていた。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	運営費・事業費の補助額については、繰越金が発生していることから減額を行っていた。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	自立支援教育訓練給付事業
R5年度 事業名	自立支援教育訓練給付事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN計画

部署名	こどもまんなか課	開始年度	0	終了年度	9999
目的	ひとり親家庭の母および父が就業するために受講した資格取得等講座の受講料の一部を補助することにより、経済的自立を促進する。				
概要	ひとり親家庭の母および父の自立を支援するために、職業相談を通じて指定された職業能力開発のための講座を受講するものに対して職業訓練終了後、受講料の一部を支給する。				
法令等根拠	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱(厚生労働省)、鯖江市自立支援教育訓練給付金交付要綱	実施形態	内容	ひとり親家庭の母が就業するために受講した資格取得等講座の受講料の一部を補助する	
現在	市直営				

活動指標	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ひとり親家庭制度新規申請者への制度周知活動回数		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	給付事業支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	-	
	計算 根拠	受給者／申請者	達成率	100	100	100	-		
			実数値	1/1	1/1	2/2	0/0		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	150	150	108	446	2,338
決算額	90	15	11	58	0

会計	一般会計
事業タイプ	補助(国)事業
経費区分	扶助費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	2	304	母子家庭等自立支援事業費	5,952	2,338
2							
3							
4							
5以降							
						合計	2,338

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	母子家庭等自立支援補助金(3/4)	1,753
2		
3		
4		
5以降		
		合計 1,753

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0.01
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

取組内容

ひとり親家庭の母および父の自立を支援するために、職業相談を通じて指定された職業能力開発のための講座を受講するものに対して職業訓練終了後、受講料の一部を支給する。R5まで補助対象外であった受講料の4割相当分についても補助対象とする。

来年度へ向けて

R5年度の実績

令和5年度 自立支援教育訓練 実績2件

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

ひとり親世帯の負担解消に就労支援は重要であるため、積極的な周知が必要。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

支援が必要なひとり親世帯が利用できるよう、児童扶養手当現況届手続き時や他の窓口手続き時に制度の周知を行う。
R5まで補助対象外であった受講料の4割相当分についてもR6年度から補助対象とする。

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	高等職業訓練促進事業
R5年度 事業名	高等職業訓練促進事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の母および父が就業するために、専門的な資格取得のため修業中の生活費を支給することにより、資格取得と経済的自立を促進する。					
	概要	ひとり親家庭の母および父が資格受講中に、生活の安定を図り、資格取得を容易にするため、高等職業訓練促進費を支給するとともに、修了後に入学支援修了一時金を支給する。					
	法令等 根拠	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱、鯖江市高等技能訓練促進費等交付要綱	実施 形態	内 容	母子家庭の母が資格受講中に、生活の安定を図り、資格取得を容易にするため、高等職業訓練促進費を支給するとともに、終了後に入学支援修了一時金を支給する。		
	現在	市直営					

活動指標	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ひとり親家庭制度新規申請者への制度周知活動回数		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	給付事業支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算根拠	受給者／申請者		達成率	100	100	100	100	
				実数値	1/1	3/3	3/3	4/4	
			ランク	A	A	A			
前年度ランクB、Cの理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,850	1,650	2,892	5,973	4,622		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	0	846	2,892	4,113	2,626		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	304	母子家庭等自立支援事業費	5,952	4,622
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	4,622

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	母子家庭等自立支援補助金(3/4)		3,466
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	3,466	

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	ひとり親家庭の母および父が就業するために、専門的な資格取得のため修業中の生活費の負担を軽減するため訓練促進費を支給する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	高等職業訓練給付金 3件 4,113千円
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	ひとり親世帯の経済的自立に向けた資格取得は重要であり、生活負担の解消のため、制度の積極的な周知が必要。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	支援が必要なひとり親世帯が利用できるよう、児童扶養手当現況届手続き時や他の窓口手続き時に制度の周知を行う。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	すみずみサポート事業
R5年度 事業名	すみずみサポート事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN 計画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	小学校就学前および小学校3年生までの児童を対象に一時保育、子育て家庭における生活支援(家事代行サービス)を通して、子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減を図る。					
	概要	就職活動、疾病、事故、冠婚葬祭、学校等の公的行事への参加など、社会的にやむを得ない事由により、家庭で一時的に保育を行うことができない場合の子育て家庭の支援として、一時保育、家事代行サービスを民間事業者等に委託する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	一時保育、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行う。		
	現在	民間等委託(全部)					

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	制度の周知活動			回	目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3	3	3	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率			%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	利用者数/利用申込者数			達成率	100	100	100	100	
					実数値	4369/4369	3107/3107	4029/4029	4305/4305	
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	11,800	11,800	13,480	13,500	14,894		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	8,435	8,091	8,807	13,430	14,894		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	303	すみずみサポート事業費	20,390	13,600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	13,600

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	すみずみ子育てサポート事業費補助金		6,845
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	6,845	

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	一時預かり、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行う。(ホームページ、子育て支援ハンドブックやチラシで周知) 今後は、委託業者を増やし、より利用しやすい体制づくりに努める。	

来年度へ向け	R5年度の実績	一時預かり、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行った。また、ホームページ、子育て支援ハンドブックやチラシに掲載し、周知を行った。利用できる施設が新たに2つ増え、11施設となった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R4から多胎育児サポート・子だくさんプロジェクトにより、補助の対象が拡充し、新型コロナウイルスの行動制限等が緩和され、利用が増加している。業者とも情報共有しながら、気軽に利用できる体制を整えたい。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	すみずみ子育てサポート事業の多胎育児サポート事業・子だくさんプロジェクト(R4～)を周知し、子育て家庭および妊婦家庭の経済的、精神的負担の軽減を図り、子育てしやすい環境を整備する。利用量も増えているため、委託先を増やすなどして、ニーズにこたえられるよう努める。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	子育てマイスター地域活動推進事業
R5年度 事業名	子育てマイスター地域活動推進事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	子育てに関する悩みや不安を抱えている子育て中の保護者が、県が認定登録した子育てマイスターと相談できる場を提供することで、子育て支援の充実を図る。					
	概要	子育てマイスターを活用した相談事業を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	子育てマイスターを活用した相談事業を実施する。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	延べ活動回数		回	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	63	79	91	107	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	活動回数/実施要請回数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	63/63	79/79	91/91	107/107		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	560	532	532	532	549		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	310	413	493	365	549		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	204	子育てマイスター地域活動推進事業費	532	532
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	532

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子育てマイスター地域活動推進事業費補助金(県1/2)		266	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	266

事業要員	正規職員	0.06
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
取組内容	子育て支援センターにて、子育てマイスターによる子育て相談会を実施(日時指定)「マイスターとお話しよう」と銘打つ。また、マイスター登録を促し、マイスターの増員を図り、より多くの子育て家庭を支援する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度 子育てマイスターを活用した相談を96回実施し、391名の親子が参加した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	新たなマイスター活動者の確保が難しく、事業拡大、相談支援拡大を目標とする場合、従来のマイスターの先生方と連携を強化し、保護者の相談に対応することが必要となってくる。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	ハーフバースデイだけでなく、子育て支援センターにじいろのなかよし一むにて、子育てマイスターによる子育て相談会を実施「マイスターとお話しよう」と、自由に子育てについて話せる場を作りたい。また、マイスター登録をしてもらえようOGの先生方への声かけをしていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	地域子育て支援拠点事業
R5年度 事業名	地域子育て支援拠点事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	1998	終了年度	9999
目的	子育て支援センターで、子育て家庭を対象に、親子の交流促進や子育て講座、育児相談などを設けることで、子育ての孤立感・負担感の解消を図る。また、地域全体での子育てを支援する基盤の形成を図る。					
概要	子育て支援センターにおいて、(1)親子の交流促進や子育て講座を行う、(2)18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問支援など継続的な業務を実施する、(3)各子育て支援関係機関と連携をとり、子育て家庭の多様なニーズに対応した支援事業を行う。また、子育て家庭を対象に子育ての悩みや問題について情報交換や学習機会の提供および子育てグループの支援活動の企画、指導や地域の保育資源の情報提供を行う。また、地域子育て支援ネットワークとの連携を強化し地域での支援体制を強化していく。					
法令等根拠	児童福祉法		実施形態	内容		
現在	市直営			子育て支援センターとして遊び場の提供、講座や相談事業を実施する。地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭への情報発信、地域でのネットワークを生かし、各地区の子育て支援事業を援助する。		

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	なかよし一む開所日数		回	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	239	257	275	273	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	センター利用対象者の1事業当たり利用数		人数	目標値	28	25	35	35	35
				実績値	32.9	27.1	33.4	27.7	
	計算 根拠	延利用者数／事業回数	達成率	117.5	108.4	95.4	79.1		
			実数値	7872/239	6966/257	9186/275	7575/273		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	19,249	19,156	12,369	13,369	17,670		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	18,354	9,321	9,631	13,248	16,760		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	201			17,670
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	17,670

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	子ども・子育て支援交付金(国庫支出金)			5,696
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	5,696

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	2.5
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	子育て支援センターにて子育て支援の中核施設として、親子の交流をはじめ子育て講座などの学習機会の提供や市内の子育て情報を子育て支援ハンドブックやホームページ、SNSを使って情報発信を継続していく。また、各地区の地域で育む子育て支援ネットワーク委員会の事務局、保育所、健康づくり課、COSAPOや療育関係機関などとの連携強化に努め、子育てに優しい街づくりを推進する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 言語聴覚士の常駐に相談事業も充実し、ことばの教室の開催も増えた。COSAPO、地域で育む子育て支援ネットワーク委員会と連携し、土曜開所や土日開催イベントを実施し、休日・雨天でも遊べる場の提供を行うことができた。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 子ども家庭センター設立により、さらにスムーズな支援体制ができた。気軽に遊び場として利用したり、相談したりできる場として、広報誌や様々なSNSを使って情報提供をしていく。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 全天候型の遊びの広場として、喬陽会館と子育て支援センター「にじいろ」のより良い利用法を検討していく。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	実施	実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	児童クラブ事業
R5年度 事業名	児童クラブ事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	放課後に昼間保護者がいない児童の健全育成を図る。				
	概要	民間保育園、施設等で放課後児童クラブの実施を委託し、事業費の補助を行う。				
	法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容	民間保育園、施設等において放課後児童クラブの実施を委託し、事業費の補助を行う。	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
児童クラブ実施クラブ数		箇所	目標値	21	21	31	31	31
			実績値	21	22	31	31	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
児童クラブ児童受入率(公設民営・民設民営)		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	受入者数/利用申込者数		達成率	100	100	100	100	
			実数値	627/627	676/676	697/697	643/643	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	125,599	121,249	128,707	148,179	171,250		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	125,599	121,249	128,707	148,179	169,686		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	203	児童クラブ事業費	199,686	171,250
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	171,250

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)		92,694	
	2	児童クラブ利用料		16,730	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	109,424

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
取組内容	引き続き児童クラブの利用を希望する児童が全員利用できるよう運営を行っていく。 児童クラブを運営するために必要な放課後児童支援員の資格取得に対して奨励金を給付し、児童クラブの運営に必要な人材確保と充実を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度の児童クラブ実施については、31か所実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R5年度はコロナ前の状況に戻っており、来館数も増えているので、消毒や換気等を行いながら実施した。 R6年度からは、新横浜地区で新たに1か所児童クラブを開設し、児童の受け入れを確保した。 学童保育の申し込みが年々増えている中、受け入れ側の人員確保が難しい状況である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	児童クラブを運営するために必要な放課後児童支援員の資格取得に対して奨励金を給付し、児童クラブの運営に必要な人材確保と充実を図る。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	鯖江市婦人福祉協議会運営補助事業
R5年度 事業名	鯖江市婦人福祉協議会運営補助事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN 計画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	1969	終了年度	9999
	目的	鯖江市婦人福祉協議会の活動を支援し、婦人福祉の向上を図る。					
	概要	鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助する。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	研修会等の実施回数		回	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	7	7	6	8	
	計算 根拠	研修会等開催回数/目標値		達成率	87.5	87.5	75	100	
				実数値					
				ランク	B	B	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	研修会開催数が近隣市町会員との意見交換会等、計6回となったから							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	40	40	40	40		事業タイ	単独事業
	決算額	45	40	40	40	40		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	601	母子福祉団体等補助金	545	40
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	40

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助することで、婦人福祉の向上を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度 研修会開催数は目標8回に対して、近隣市町会員との意見交換会等、計6回実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	婦人福祉協議会の活動を支援するために、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら、補助金および活動実施のための補助を行った。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	県や他市町と連携しながら、研修会への参加や意見交換会等を通じて会員の資質向上に努めるよう働きかける。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	地域ファミリーサービス活動費補助金
R5年度 事業名	地域ファミリーサービス活動費補助金

総合戦略 体系	142	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	-----------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	地域における日常的な助け合いと連帯を強めるための活動を推進する。				
	概要	女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行、老病者付き添い、子守などに取り組んでいる活動運営に対し事業補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	理事会		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	4	4	4	4	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	支援実績数／支援依頼数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	4010/4010	4453/4453	3966/3966	3982/3982	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	100	90	100	100	100		事業タイプ	単独事業
	決算額	100	90	100	100	100		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	1	602	児童福祉団体等補助金	100	100
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	100

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0
	※所要時間	24

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行、子育てに関する事業に取り組む活動運営に対し事業補助を行うことで、市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」の実現に向けた一助とする。広報誌等で会員募集の呼びかけを行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	一時預かりや家事手伝いなどの支援依頼に対して、3,966件のサービスを提供した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	支援を必要としている人に対してサービスを提供する。女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行等に取組む活動に対し事業補助を行うことは重要と考える。会員が年々高齢化していることから、新たな会員募集の呼びかけを行い、団体の体力強化を図る必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	広報誌等で会員募集の呼びかけを行う。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	子育て短期支援事業
R5年度 事業名	子育て短期支援事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	2006	終了年度	9999
目的	保護者の疾病その他の理由により児童を養育することが一時的に困難になったときに、児童福祉施設等において一定期間養育することで、児童およびその家庭の福祉の向上を図る。					
概要	①ショートステイ事業(家庭で児童の養育ができないとき預かる)、②トワイライト事業(夕方から夜に家庭で児童の養育ができないとき預かる)					
法令等根拠	国の次世代育成支援対策交付金事業		実施形態	内容	①ショートステイ事業(家庭で児童の養育ができないとき預かる)、②トワイライト事業(夕方から夜に家庭で児童の養育ができないとき預かる)	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
受入事業所数(里親を1箇所として計上)		箇所	目標値	2	2	3	4	3
			実績値	2	3	4	2	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
利用希望者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	受入日数/受入希望日		達成率	100	100	100	100	
			実数値	115/115	244/244	233/233	271/271	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,100	1,419	1,326	1,280	2,538		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	633	1,419	1,326	1,280	2,538		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	304	子育て短期支援事業費	9,013	1,206
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,206

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)		524	
	2	子育て短期支援事業納付金		413	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	937

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	12

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	家庭で児童の養育ができないとき児童福祉施設等において一定期間養育し、児童およびその家庭の福祉の向上を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	①ショートステイ事業 延べ226日②トワイライト事業 7日利用
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	・児童の養育が一時的に困難になった時に事業を活用できるよう、施設との連絡調整をスムーズに行い、受け入れをお願いしていく。 ・年々利用者が増えている。 ・施設利用を断られるケースがあり、確実な利用につながるよう、吉江学園での専従人員配置または契約事業所を増やす等検討していく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	吉江学園に専従人員2名(常勤1名、非常勤1名)を配置し、里親によるショートステイや親子入所等支援を行い、確実な利用や子育ての支援を行う。また、併せて、土日の一時預かりや居場所づくりなどを行い、保護者のニーズに応じた子育て支援を行う。
	R7方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	地域で育む子育て支援ネットワーク事業
R5年度 事業名	地域で育む子育て支援ネットワーク事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	地域の子育て支援関係団体および関係機関が公民館単位ごとに「地区子育て支援ネットワーク委員会」を設置することにより、地域の実情に合わせた地区ぐるみの子育て支援のあり方を協議し、関係団体、関係機関で実施している事業を調整し、子育てしやすい環境づくりのため連携し協力し合い事業を展開する。					
	概要	地区ごとに「地区子育てネットワーク委員会」を設置し、地域における子育て支援ネットワークを構築していくために、子育て支援ネットワークが実施する子育て支援事業に係る費用の一部を委託する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	地区子育て支援ネットワーク事業に係る費用の一部を委託する。		
	現在	民間等委託（一部）					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	地区ネットワーク委員会設置箇所数		地区	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10	10	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ネットワーク委員会開催数		回	目標値	100	100	150	150	150
				実績値	102	114	157	213	
	計算 根拠	ネットワーク委員会延開催数/目標値		達成率	102	114	104.7	142	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,000	1,800	1,800	1,800	1,800		事業タイ	単独事業
	決算額	1,000	1,797	1,800	1,797	1,800		経費区分	物件費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	205	地域で育む子育て支援ネットワーク事業費	2,000	1,800
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,800

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	安心して子供を生み育てる地域社会をつくるため、各地区10ヶ所にある地域で育む子育て支援ネットワーク委員会に対し、事業の委託を行う。委託を行うことで、子育てに関するスキルアップを図り、ネットワーク委員や各地区のCOSAPOとの相互連携強化、保健師、保育士を交えた活動を推進する。子育て支援事業の情報をより広く届けるため、市の公式ラインを活用しやすい仕組みづくりを行う	
来年度へ向けて	R5年度実績 R3年度から、それまで子育て支援センター職員が出向き行っていた、鯖江、片上、立待、吉川、豊地区の「子育てひろば」を地区子育て支援ネットワーク委員会に委託して行っている。そのほか各地区公民館単位で、地域ぐるみのさまざまな子育て支援事業を企画実施し、参加者数2,791名となった。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 各地区の特徴ある子育て支援活動を企画し、地区単位でのきめ細かい事業を目指すことが重要。事業を実施するにあたり、ホームページやInstagram、フェイスブック等による情報発信に努める。また、6年度赤ちゃんとのおふれあい教室を鯖江市内7校の小学校において実施する。次世代育成のとても意義が大きい事業をネットワーク委員会が主体的となり行うことで、地区全体で子育てを支援する社会づくりを推進していく	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 より広く情報を届ける情報発信を行なう。又、子育て支援機関同士の連携を更に強化していく。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	ハーフバースデイ事業
R5年度 事業名	ハーフバースデイ事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	生後6か月の幼児と母親をハーフバースデイ事業に招待し、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し情報交換することで育児不安の解消を図る。					
	概要	・地域で育む子育て支援ネットワーク委員会(各地区の民生委員・子育て推進委員・愛育会等で構成)と協働でハーフバースデイ事業を実施する。 ・ハーフバースデイ事業は、育児に関してベテランの同委員会のメンバーが、各地区の実情に合わせて趣向を凝らした催しをとおし、子育てのノウハウを育児世代に伝えていく。 ・親子の観察等を通じて、育児訪問事業へ繋げる。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	同じ月齢(生後6か月)の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し情報交換することで育児不安の解消を図る。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ハーフバースディ参加率		%	目標値	92	92	92	92	92
				実績値	95.8	95.8	96.2	95.2	
	計算 根拠	参加者数／該当者数		達成率	104.1	104.1	104.5	103.4	
			実数値	384/401	458/478	485/504	476/500		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	757	777	665	794	701
決算額	650	752	658	650	634

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	9	201			701
2							
3							
4							
5以降							
合計							701

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国1/3 県1/3)	528
2		
3		
4		
5以降		
合計		528

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)

☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない)

☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない)

☒ いる ☐ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)

☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

取組内容

生後6ヶ月の赤ちゃんとその保護者に対して、鯖江市内10地区で実施している子育て支援ネットワーク委員会主催のハーフバースデー事業への参加を促し、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流・情報交換することで育児不安の解消を図る。

来年度へ向けて

R5年度の実績

参加率95%。ハーフバースデー事業を実施するなかで気がかりな児童、家庭に対し、育児支援を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

約5%の家庭が未確認。全数フォローできない状況が続いている。関係機関と情報を共有し育児訪問事業で全数フォローするよう努める。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

関係機関との情報共有し育児訪問事業や健診時で子育て状況を確認していく。
また、ハーフバースデー事業や各地区委員会と情報も共有し、地区子育て支援事業を情報発信し、各地区での参加の声掛けをして今後の子育て状況を確認し地域での支援を深める。

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	養育支援訪問事業
R5年度 事業名	養育支援訪問事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	2016	終了年度	9999
目的	家庭訪問による養育に関する指導を行うことにより、若年の妊婦、育児不安、支援者希薄などの気がかり家庭や児童虐待予防を目的とする。					
概要	毎月家庭訪問し、育児状況を確認しながら相談援助を行う。					
法令等根拠	国の次世代育成支援交付金対象事業		実施形態	内容	子ども・子育て支援交付金の助成により、養育支援訪問を行い、家庭訪問による相談援助を行う。	
現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	養育支援訪問件数		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	養育支援訪問件数／養育支援訪問必要件数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	106/106	146/146	114/114	61/61	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,916	2,249	1,199	1,400	1,626		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	607	332	865	927	423		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	212	重層的支援体制整備事業費(子ども・子育て)	60,469	1,626
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,626

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金)		720	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	720

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み					
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない	
13	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない	
	9点～16点	維持または 事務改善			

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	健康づくり課、子育て支援センターとの連携を密にしながら、子育てに対する不安感負担感の解消を図るため家庭訪問を行い、児童虐待の早期発見や予防に努める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	家庭訪問を行うなかで、気がかりな児童、家庭に対し、育児支援を行った。また、継続的な支援を必要とする家庭には、ケース会議を通して各関係機関と連携してきめ細やかな支援を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 今後も、あらゆる関係機関との連携を深めながら相談支援を行う。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 これまで以上に健康づくり課との連携を密にとり、対象家庭に適した訪問担当者について協議し育児訪問事業を実施する。フォロー対象の家庭に対しては情報を共有しながら最善な支援策を進める。	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	ひとり親家庭等児童学習支援事業
R5年度 事業名	ひとり親家庭等児童学習支援事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭および生活困窮世帯の児童は、精神面や経済面で不安定な状況におかれることにより、学習の意欲が低下したり、十分な教育が受けられず、児童の将来に不利益な影響を与えかねない。このため、学習ボランティアによる学習の支援や、気軽に進学相談等を受けられる場所（児童の居場所づくり）等を整えることにより、児童の健全育成と自立を促進する。					
	概要	民間団体に委託し、定期的に学習会を開催する。また、レクリエーション活動を通して、児童の居場所を提供する。					
	法令等 根拠	鯖江市ひとり親世帯等学習支援事業実施要綱	実施 形態	内容	母子寡婦福祉団体と連携している団体に委託し事業を実施する		
	現在	民間等委託(全部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	開催数		回	目標値	220	290	290	290	330
				実績値	225	317	333	323	
	計算 根拠	2020～集合型学習、遠隔学習の合計を算出	達成率	102.2	109.3	114.8	111.3		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,300	5,400	5,900	6,600	6,680		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	4,459	3,685	4,744	5,320	5,811		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	201	母子福祉等事務諸経費	15,065	6,680
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,680

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	母子家庭等対策総合支援事業補助金(県3/4)		5,010	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	5,010

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	毎年、登録児童数が約30名おり、参加する保護者とも継続利用を望む声が多い。会場を4ヵ所(各中学校区に1か所および立待公民館)にて、学習会を開催する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	鯖江市内4会場、年間278回集合型学習会を開催し、延べ1,345人、遠隔学習では55回、延55人の児童が参加した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルスをきっかけに開始した、ITを活用した遠隔学習を継続して実施した。また、会場4ヵ所において、多くの児童の学習の場を提供することができた。令和6年度も全4ヵ所の会場および遠隔学習を継続していく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	今後も場所を選ばない遠隔学習を継続して実施。また、令和7年度からは吉川公民館でも開催し、会場を5ヵ所に増やして実施する。
	R7方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	子育て支援センター一時預かり事業
R5年度 事業名	子育て支援センター一時預かり事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN 計画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	保育所などを利用していない家庭においても、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合がある。現在、鯖江市においては保育所等で一時預かり事業を行っているが、希望者が多く、子育て家庭のニーズにこたえられない場合があるので、子育て支援センターで一時預かりを実施する。					
	概要	子育て支援センターの移転に伴い、一時預かり室を設置。一時預かり担当をCOSAPOに依頼し、一時預かり室やなかよし一むにて託児を行う。平日の9:00～12:00、13:00～16:00にそれぞれ定員3名で実施。					
	法令等 根拠	国の次世代育成支援対策交付金事業	実施 形態	内容	COSAPOに協力を依頼し、一時預かり事業を実施する。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	制度の周知活動		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12	12	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	利用者数		人	目標値	250	400	700	750	800
				実績値	586	726	887	890	
	計算 根拠			達成率	234.4	181.5	126.7	118.7	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,002	1,260	1,770	2,384	2,589		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	495	1,169	1,770	2,384	2,310		経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	212	重層的支援体制整備事業費(子ども・子育て)	60,469	2,589
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,589

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)		863	
	2	子育て支援センター一時保育事業納付金		200	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,063

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
取組内容	一時預かりの利用者数の増加に伴い、月40人を超える申し込みがあるため、今後も毎日一時預かりを実施、子育て家庭の育児負担感の軽減を図っていく。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度もハーフバースデー事業の際に子育て「ほっと一息」応援事業で一時預かり無料券を配布し、子育て負担の軽減と、事業の周知を図った。一時預かり利用者数887名であった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和4年度より、第2・第3子の一時預かりが無償化となり、預かりを希望する保護者が増加。COSAPOの協力を得ながら事業を実施した。令和6年度も一時預かりの受け入れ人数の増加が予想される。より一層COSAPOの協力が必要となるので連携を強化し担当者の確保に努めてきた。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	一時預かり利用者数の数を見ながら、一時預かりの受入れについて、更なるCOSAPOの協力と職員の役割分担の中で工夫し対応する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業
R5年度 事業名	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	2019	終了年度	9999
目的	ひとり親家庭の経済的負担を軽減するために、高等学校等に在学している児童の通学のための公共交通機関の定期券購入費用を助成する。					
概要	市外の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用。ただし、児童1人につき、1ヵ月当たりの上限は1万円とし、助成期間の上限は36ヵ月間とする。					
法令等根拠	鯖江市ひとり親家庭高校生の通学定期代助成事業実施要綱		実施形態	内容	ひとり親家庭の保護者から申請書等を提出してもらい支給する。	
現在	市直営					

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	制度の周知活動				目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	2	2	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	助成件数			件数	目標値	100	110	110	110	110
					実績値	100	110	110	110	
	計算 根拠	助成件数／申請件数			達成率	100	100	100	100	
					実数値	107/107	99/99	172/172	123/123	
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,500	3,122	3,400	3,100	3,600		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	2,439	3,122	3,082	2,644	1,882		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	2	307	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業	3,000	3,600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,600

補助金等	No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
	1	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業費補助金	1,800
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	1,800

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	市内の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用の1/2を助成する。(ただし、児童1人につき、1ヶ月あたり上限10,000円)	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市内の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用について、適正に審査および助成金の支給を行った。令和5年度 助成件数172件
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	申請数が増加傾向にあることを踏まえ、令和6年度より申請書の内容を入力するのにデジタル技術を取り入れ、業務プロセスの改善を行った。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	電子申請化の検討を行う。また併せて審査、支払い事務の効率化の検討も行う。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	家庭育児応援手当事業
R5年度 事業名	家庭育児応援手当事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、給付金を支給し、経済的負担軽減を図る。					
	概要	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、その第2子以降の児童1人につき月1万円を支給する。					
	法令等 根拠	鯖江市家庭育児応援手当金支給要綱	実施 形態	内 容			
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	制度の周知活動		回	目標値	5	3	3	3	3
				実績値	5	1	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支給率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	支給決定数/支給要件適合者申請数×100	達成率	100	100	100	100		
			実数値	15/15	12/12	5/5	37/37		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,260	3,627	8,760	1,369	6,126		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	150	860	740	390	1,210		経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	1	302	家庭育児応援手当支給事業費	11,632	6,126
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,126

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	ふくい在宅育児応援手当支給事業費補助金		5,605	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	5,605

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、給付金を支給する。9月から所得制限を撤廃する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度 助成件数5件
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	申請が少ないため、引き続き、広報等による周知を行う。 また、9月からの所得制限撤廃についても、広報等で周知を行う。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	広報さばえの掲載や支援センターへチラシを配布して、引き続き、周知を行う。
	R7方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	子育てサポーター養成講座事業
R5年度 事業名	子育てサポーター養成講座事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	2021	終了年度	9999
目的	地域の中で子育てのサポートを受けられる環境づくりのために、子育て支援を行うことができるボランティア(子育てサポーター)を養成する講習会を開催し、地域の子どもは地域の中で育てていくという機運を醸成する。					
概要	子育て支援センター事業 子育てサポーター養成講座 【内容】仕事や子育てを終えた高齢者やシニア世代をはじめ、子育て世代にも対象として子育てに関する講習会を開催し、受講修了者は子育てマイスターやCOSAPOとして登録し、地域の子育て支援活動先へつなぐ。 【対象】子育て世代、高齢者、シニア世代等 【場所】子育て支援センター					
法令等根拠		実施形態	内容	子育てサポーター養成講座を子育てサポーターの会「COSAPO」に委託して実施する		
現在	民間等委託(全部)					

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	周知回数			回	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	2	2	2	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	養成講座開催数			回	目標値	5	10	10	10	10
					実績値	10	10	10	10	
	計算 根拠				達成率	200	100	100	100	
					実数値					
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		330	330	330	850		事業タイ	補助(県)事業
	決算額		330	330	330	850		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	201			850
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	850

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
取組内容	子育てサポーター養成講座を子育てサポーターの会COSAPOに委託し、前期・後期、実習を含む5講座ずつ開催する。 R6年度は遊び場づくりと一体化したイベントを開催することで、受講生の実習の場やサポーターのスキルアップの場とする。 なお、子どもの遊び場づくり事業(3795)を統合する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら前期・後期、実習を含む5講座ずつ開催。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 令和5年度も提案型市民主役事業により実施し、実行委員を若手の委員に依頼した結果、地域の子育て支援の人材育成とともに、若いパパママへの講座としても広く情報発信を行なった。子育て世代同士のピアカウンセリングの中心人物としての人材育成の講座としても受講生が多かった。又、子育て応援フェスタでの見守りを実習とした結果、終了後もフェスタに協力するCOSAPOが増加した。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 令和7年度も遊び場づくりと一体化したイベントを開催することで、受講生の実習の場やサポーターのスキルアップの場とする。 R7方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	子育て家庭総合支援拠点事業
R5年度 事業名	子育て家庭総合支援拠点事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	------------------------------------	---------------------	-------------

PLAN
計画

部署名	こどもまんなか課		開始年度	2021	終了年度	9999
目的	子ども家庭総合支援拠点の設置により、18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待等の電話・来所・家庭訪問等により相談支援を行う。 発達上気がかりな児童に対して、個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対して、少しでも早い時期から子どもの発達特性に応じた適切な環境や接し方の工夫を助言し、支援する。					
概要	専門的な知識を有する職員が、18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、育児やしつけ、子育てに対する不安や悩みだけでなく、虐待以外の家庭内の問題に対し、電話や来所面接、訪問支援を中心とした継続的な業務を実施する。また、幼児発達支援事業においては、ことばの遅れ、落ち着きがないなど発達上気がかりな児童に対して個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対しては少しでも早い時期から子どもの発達特性に気づかせ、一人一人に応じた、適切な環境と接し方の工夫を助言し、支援を実施する。					
法令等根拠	児童福祉法	実施形態	内容	保健師等の専門スタッフが発達に関する相談に応じる。		
現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	拠点数		箇所	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	のびのび教室開催数		回	目標値	12	36	36	36	36
				実績値	14	31	44	36	
	計算 根拠			達成率	116.7	86.1	122.2	100	
				実数値					
	相談活動日数		日	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	254	257	275	273	
	計算 根拠			達成率	101.6	102.8	110	109.2	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		3,577	10,007	11,259	12,147		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額		1,268	10,007	11,259	12,147		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	212	重層的支援体制整備事業費(子ども・子育て)	60,469	8,077
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	8,077

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子ども・子育て交付金		6,323	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	6,323

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.4
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☐ 横ばい ☒ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	子ども家庭総合支援拠点で18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問支援等継続的な業務を実施する。 また、幼児発達支援事業については、ことばの遅れ落ち着きがない等、発達に気がかりな児童に対して個々の発達に応じた支援を行う。保護者に対して少しでも早い段階から子どもの発達の特性について気づき、接し方の工夫やその他サービスへの繋ぎなど相談に応じる。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 子育て支援センターでの総合相談における電話相談は45件、来所相談が15件、出張相談が130、支援事業での相談41件、要対協関係48件、また、ことばの相談が246件、合計525件の相談があり、丁寧な対応を行った。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 今後も今までどおりあらゆる関係機関との連携を深めながら相談体制をとっていく。また、ことばの教室「きらきら」の個別対応も令和5年度より開催し、広く年齢を超え対応してきた。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 今後も、こども家庭センターの一機関として他機関との連携を更に強化し、対応していきたい。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	赤ちゃん訪問おむつ券配布事業
R5年度 事業名	赤ちゃん訪問おむつ券配布事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	おむつ（助成券）を配布することで子育て世帯への経済的負担を軽減する。また、訪問の際、育児相談等を行い、保護者の不安解消に努める。					
	概要	生後4か月および7～8か月の乳児宅に保健師等が家庭訪問する際に、契約している市内のおむつ販売店舗で使用できるおむつ助成券を配布する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	赤ちゃん訪問時に在宅保健師等がおむつ配布も併せて行う。		
	現在	民間等委託（一部）					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	おむつを受け取った割合		%	目標値		100	100	100	100
				実績値		100	100	100	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	おむつ配布を良かったと思った人の割合		%	目標値		80	80	90	90
				実績値		81.3	83.4	90.3	
	計算 根拠	「よかった」/アンケート回答数を選んだ人数		達成率		101.6	104.3	100.3	
				実数値		113/139	659/790	354/392	
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			2,400	2,436	2,320		事業タイ	補助(国)事業
	決算額			2,071	1,531	1,884		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,676	2,320
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,320

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	生後4か月および9～11か月の乳児宅に保健師等が家庭訪問する際に、市内のおむつ販売店舗で使用可能なおむつ助成券を配布することで、経済的負担を軽減する。また、育児相談等を行い、保護者の不安解消に努める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	家庭訪問を断った方に関しても連絡を取り、おむつ券を直接お渡しすることができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	おむつ現品はかさばるため保管が難しく、おむつの種類も限られていたため、R5年度からは、保健師の負担軽減と利用者の利便性を図るため、おむつ等の購入助成券を配布して、子育て世帯の経済的負担を少しでも軽減できた。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし。今後の動向で課題点等が見つかれば改善する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	絵本購入補助事業
R5年度 事業名	絵本購入補助事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	1歳6か月の乳児を持つ保護者に対し、絵本を購入できる図書カードを配布し、親子の触れ合いの時間に活用してもらう。					
	概要	1歳半健診時に、絵本等を購入できる図書カード(1千円分)を贈呈する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	直接、図書カードを配布することで、保護者に絵本の大切さを伝えることができる。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	図書カードを受け取った割合			目標値		100	100	100	100
				実績値		100	100	100	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	図書カード配布を良かったと思った人の割合		%	目標値		80	80	85	85
				実績値		94.4	97.8	96.9	
	計算 根拠	アンケート調査にて、「満足」・「やや満足」と回答した結果		達成率		118	122	114	
				実数値		67/71	88/90	95/98	
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額			600	580	580
決算額			520	522	475

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	その他

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,676	580
2							
3							
4							
5以降							
合計							580

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

1歳半健診時に絵本を購入できる図書カードおよびおすすめ絵本を紹介したチラシを配布し、親子の触れ合いの時間に活用してもらう。

来年度へ向けて

R5年度の実績

健診に来られた方に配布し、ほとんどの方が絵本の購入に使用し、親子のふれあいの機会に活用いただけた。また、アンケートを通じて絵本と触れ合う機会の頻度など、現状を知ることができた。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

図書カード配布について、おおむね満足いただいているので、継続していく。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし。
また、昨年同様アンケートをとり、結果を踏まえて来年度以降に生かしていきたい。

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	祝小学1年生入学おめでとう事業
R5年度 事業名	祝小学1年生入学おめでとう事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	新小学1年生の保護者を対象に、商品券を配布することで子育て世帯への経済的負担を軽減する。					
	概要	小学校入学式に、入学祝いとして、5千円分相当の商品券を贈呈する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	小学校入学式に、入学祝いとして、5千円分相当の商品券を贈呈する。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	商品券を受け取った割合		%	目標値		100	100	100	100
				実績値		100	100	100	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	商品券配布を良かったと思った人の割合		%	目標値		80	80	90	90
				実績値		95.5	95.3	94.6	
	計算 根拠	アンケート回答にて、「満足・やや満足」/回答数×100		達成率		119.4	119.1	105.1	
				実数値		317/332	463/486	278/294	
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			3,050	3,160	3,010		事業タイプ	単独事業
	決算額			3,050	3,096	2,922		経費区分	その他

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,676	3,010
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,010

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	小学校入学式に、入学祝いとして、新小学1年生の保護者を対象に5千円分相当の商品券を贈呈することで子育て世帯への経済的負担を軽減する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	小学校の入学式で配布し、市外通学者に対しても案内を送付し、贈呈することができた。 また、アンケートを通じて、商品券の使用用途など現状を知ることができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R4年度は福井市の業者に商品券を発注したが、R5年度は、鯖江市内で購入した。 引き続き、アンケートをとり意見を集約したい。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 アンケートの結果を踏まえて来年度以降に生かしていきたい。	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

R6年度 事業名	パパママ育児応援事業
R5年度 事業名	パパママ育児応援事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	男性が育児を主体的にできるように育児のやり方を学ぶ場、相談できる場を設けて女性の育児負担を軽減する。					
	概要	妊娠中または子育て中のパパママを対象に、パパママ育児応援教室や新米パパママ教室にて、悩み相談や育児に関するミニ講座・妊婦体操等を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	市直営で行うが、教室の一部については、子育てサポーター等に依頼する。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教室開催回数		回	目標値		6	8	8	8
				実績値		8	8	10	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教室に満足した人の割合		%	目標値		80	80	80	80
				実績値		100	100	100	
	計算 根拠	アンケート調査	達成率		125	125	125		
			実数値						
				ランク		A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			150	161	582		事業タイプ	
	決算額			140	70	222		経費区分	

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,676	582
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	582

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.3
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	妊娠中または子育て中のパパママを対象に、パパママ育児応援教室や新米パパママ教室にて、悩み相談や育児に関するミニ講座・妊婦体操等を実施する。R6年度は、開催回数を増やして実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	ファミリーデーを年6回、ダイバーシティ推進・相談課女性活躍推進G、健康づくり課との協働の新米パパママ教室を4回実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	土曜日開催のファミリーデーが好評だったため、令和5年度は毎週土曜日をファミリーデーとし、開所した結果、パパの来所が増大してきた。また、イクメンパパ講座も年4回実施した。好評だったので6年度も開催する。新米パパママ教室は、平日開催の希望もあり、平日2回・土曜日4回と開催回数を増やして実施する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	令和6年度パパ目録での新米パパとしての心得や育休について、また、出産までのママの体の変化など、内容を変更して開催するがアンケートにより、いただいた意見を反映しながら、令和7年度の計画を立てていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	トイレトレーニング講座事業
R5年度 事業名	トイレトレーニング講座事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN 計画	部署名	こどもまんなか課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	子育て中の親子のトイレトレーニングを支援することで、育児負担を軽減する。				
	概要	トイレトレーニングをしている親子を対象に、各地区子育て支援ネットワーク委員会が実施している事業と共同で、各地区公民館にて、トイレトレーニング講座を開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	各地区子育て支援ネットワーク委員会が実施している事業と共同で、各地区公民館にて、トイレトレーニング講座を開催する。	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
講座実施回数		回	目標値		10	20	20	20
			実績値		10	18	10	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
講座実施回数 ※～2023年度		%	目標値		10	20		
			実績値		10	18		
計算 根拠			達成率		100	90		
			実数値					
講座に満足した人の割合 ※2024年度～		%	目標値				90	90
			実績値				99	
計算 根拠			達成率					
			実数値					
			ランク		A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			376	288	70		事業タイプ	単独事業
	決算額			55	97	35		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,676	70
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	70

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	トイレトレーニングをしている親子を対象に、各地区子育て支援ネットワーク委員会が実施している事業と共同で、各地区公民館にて、トイレトレーニング講座を開催する。 就学前に対象を広げ、土日開催について保育園に入園している方にも広報することで、より多くの方に参加して学んでもらう。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 各地区トイレトレーニング講座を1回は開催し、子どもの育ちの違いを考慮し2回開催した地区もあったが、少人数での開催となった。 参加者からは、学ぶことが大変多くよかったとの意見をいただいた。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 トイレトレーニングが必要な対象者が保育園に在籍しており、参加者が少なかった。 より多くの方に参加してもらえるよう、開催日や開催場所について考える必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 就学前に対象を広げ、土日開催について保育園に入園している方にも広報すること、また、開催場所を園にすることで、より多くの方に参加して学んでもらうようにする。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	育児用品3R事業
R5年度 事業名	育児用品3R事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	SDGsの一環として、使用しなくなった育児用品を回収し、必要としている保護者に提供することで、資源の循環型社会に貢献する。					
	概要	使用しなくなった育児用品を子育て支援センター等で回収した後、各種事業に併せてフリーマーケットを開催し、育児用品を無償で提供する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	各種事業に併せてフリーマーケットを開催し、育児用品を無償で提供する。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	周知発信回数		回	目標値		2	2	2	2
				実績値		3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	参加人数		人	目標値		50	80	100	150
				実績値		181	172	253	
	計算 根拠			達成率		362	215	253	
				実数値					
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			65	56	89		事業タイプ	
	決算額			52	6	8		経費区分	

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	210	子ども子育てトータルサポート事業費	7,676	89
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	89

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	使用しなくなった育児用品を子育て支援センター等で回収した後、各種事業に併せてフリーマーケットを開催し、育児用品を無償で提供する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	子育て家庭にとって無償で育児用品を提供する3R事業は入場制限をしなければいけない程好評であった。育児用品の回収はにじいろに持ってきてくださる家庭もあったが、品数も少なくCOSAPOが各保育所の保護者に依頼し回収した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	利用者が次回開催を待っている程大変好評であるため、3R事業への協力を情報発信することで、さらに強化しながらCOSAPOと協力し事業を実施していきたい。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	3R事業への協力について情報発信していく
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
市民主役事業にかかる額(単位千円):		0
R7年度事業名		
市民主役事業にかかる額(単位千円):		0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	ヤングケアラーコーディネーター配置
R5年度 事業名	ヤングケアラーコーディネーター配置

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課		開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	ヤングケアラーに関する相談や助言、学校や関係機関、支援団体との連携や支援を実施し、ヤングケアラーへの支援体制を構築する					
	概要	こどもまんなか課に「ヤングケアラー・コーディネーター」を1名を配置し、ヤングケアラーに関する相談や支援・指導を行う					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	会計年度任用職員として1名採用する		
	現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
小中学校との連携対応率		%	目標値			30	30	100
			実績値			24	18	
計算根拠	2025年度からは小中学校との連携対応率とする 2024年度までは小中学校との連携回数		達成率			100	100	
			実数値			24	18	
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

D
O
実
施

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				2,793	3,769		事業タイ	補助(国)事業
	決算額				2,706	3,769		経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	1	201	児童福祉事務諸経費	18,595	3,401
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,401

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	児童虐待・DV対策等総合対策補助事業		2,267
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	2,267	

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	会計年度任用職員として1名配置し、ヤングケアラーに関する相談や助言、学校や関係機関、支援団体との連携や支援を実施し、ヤングケアラーへの支援体制を構築する	

来年度へ向けて	R5年度の実績	庁内関係機関による検討会を開催し、ガイドラインを作成した。 R6.3月に児童虐待防止およびヤングケアラーに関する職員研修(WEB)を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	児童虐待の予防に向け、地域や学校等関係機関で連携し、ヤングケアラーや児童虐待防止に関する啓蒙活動を行う
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	どこでも遊び場！おもちゃ貸出事業
R5年度 事業名	どこでも遊び場！おもちゃ貸出事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	こどもまんなか課	開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	子育て中の親同士の交流の場や、子育てサークル等におもちゃを無償で貸し出すことで、地域での親子のふれあいの場を作りやすくする。				
	概要	子育てサークル等におもちゃを貸し出し、親同士の交流の場や子どもの遊びを通して地域で触れ合う場の支援を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	子育て支援センターに貸出用おもちゃを用意し、貸出業務を行う	
	現在	市直営				

活動指標	指標名								単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	貸出用おもちゃの周知回数								回	目標値			4	4	4
										実績値			4	4	
	成果指標														
	指標名								単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	貸出用おもちゃの貸出回数								回	目標値			12	15	15
										実績値			23	21	
	計算 根拠									達成率			191	140	
										実数値			23/12	21/15	
										ランク					
前年度 ランク B、Cの 理由															

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				430	0		事業タイプ	交付金事業
	決算額				427	0		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	211			0
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	0.05
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	子育て支援センターに貸出用おもちゃを複数セット常備し、子育て中の親同士の交流の場や、子育てサークル等におもちゃを無償で貸し出す。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	23件の貸し出しの実績があったが、保育所や地区ネットなどの団体貸し出しが多かった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	絵本の貸し出しは行なっており、好評であるが、大型おもちゃの持ち帰りなどは負担が多いのか、おもちゃの再度厳選が必要であるようだ。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	持ち運びしやすいおもちゃの貸し出しも検討していく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒